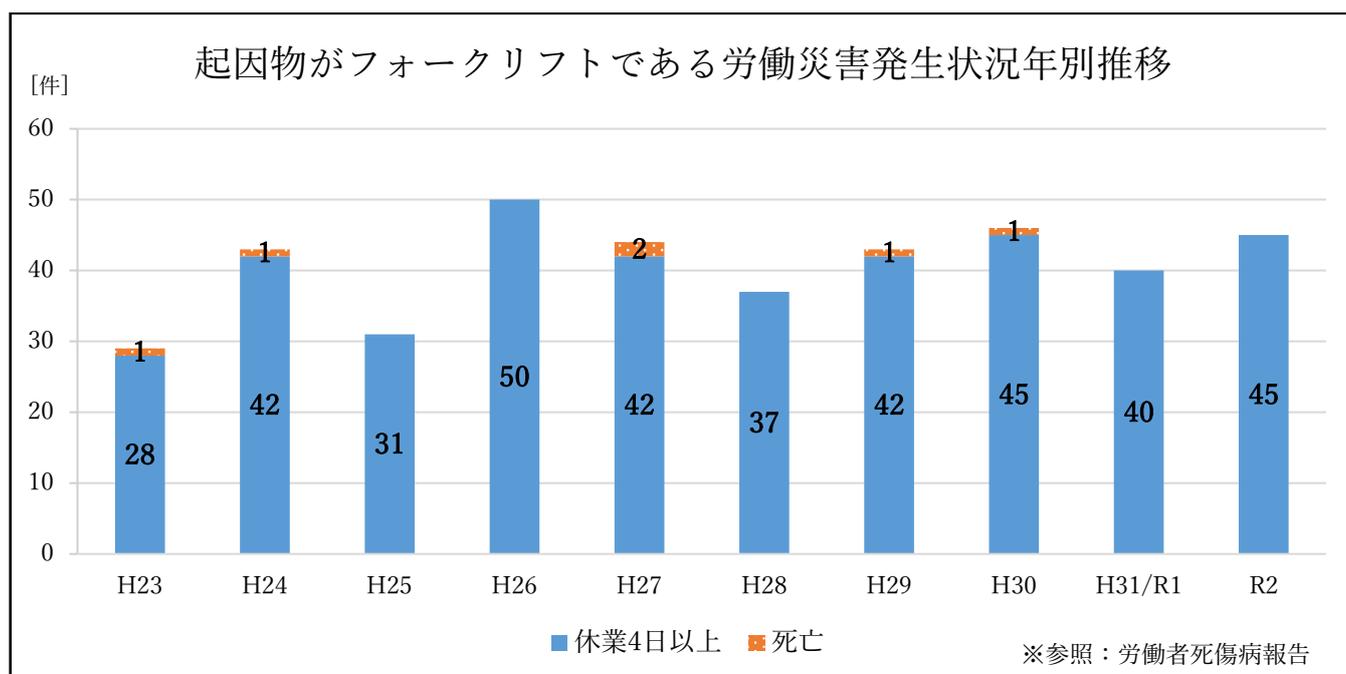


# フォークリフトによる労働災害を防止しましょう

岡山県内における起因物がフォークリフトである休業4日以上の死傷災害は、平成23年から令和2年の10年間で408件（年平均約40件）であり、ほぼ横ばいで推移しています。その内、死亡災害は6件発生しています。

フォークリフトは、様々な企業で使用する機会が多く、状況によっては自社の労働者のみならず第三者を巻き込む災害に発展するケースや、死亡災害等の重篤な災害に至るリスクが高いことから、積極的な対策を講じるようご協力をお願い致します。

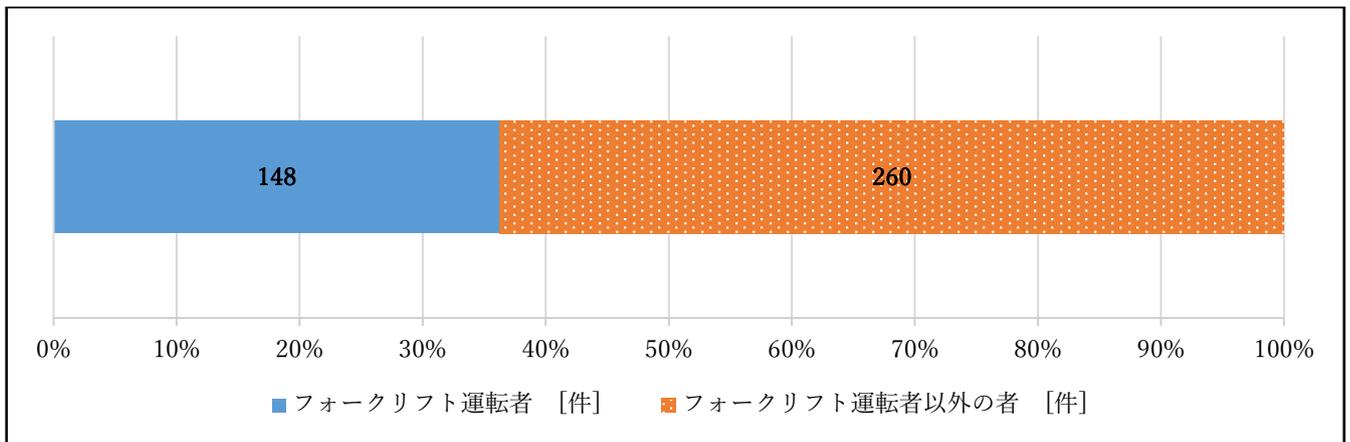


業種別では、製造業、道路貨物運送業、貨物取扱業、倉庫業などの業種における構内作業時に労働災害が多く発生しています。また、道路貨物運送業では、荷主先での災害の割合が高いため、「道路貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」（平成25年3月25日付基発0325第1号）に基づき、陸上貨物運送事業及び荷主・配送先・元請事業者等においてそれぞれ安全対策を講じてください。

## フォークリフトに関する労働災害業種別発生状況（H23年～R2年）

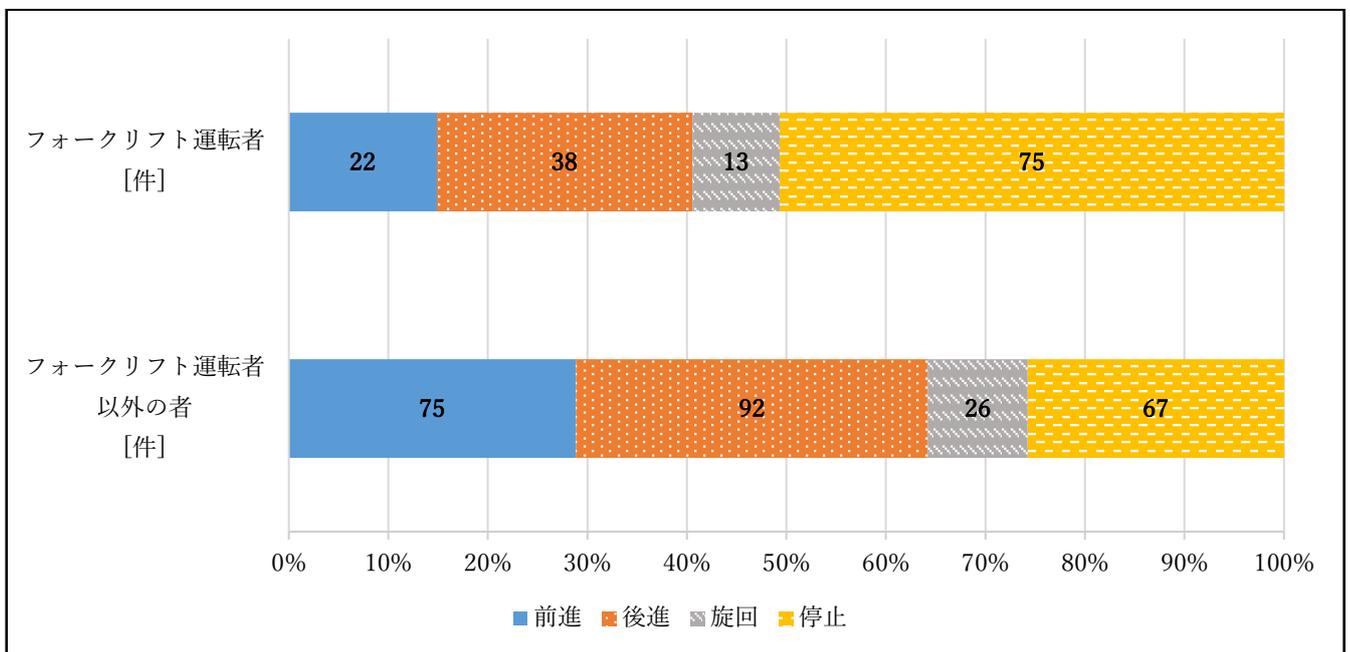
製造業	建設業	道路貨物運送業	貨物取扱業	商業		その他
				倉庫業	その他	
133	10	150	27	22	31	35

## ◆ 被災者の区分（H23年～R2年）



- 被災者全体を見ると「フォークリフト運転者（36%）」より、フォークリフトの周辺で作業を行っている等「フォークリフト運転者以外の者（64%）」の方が多く被災しています。

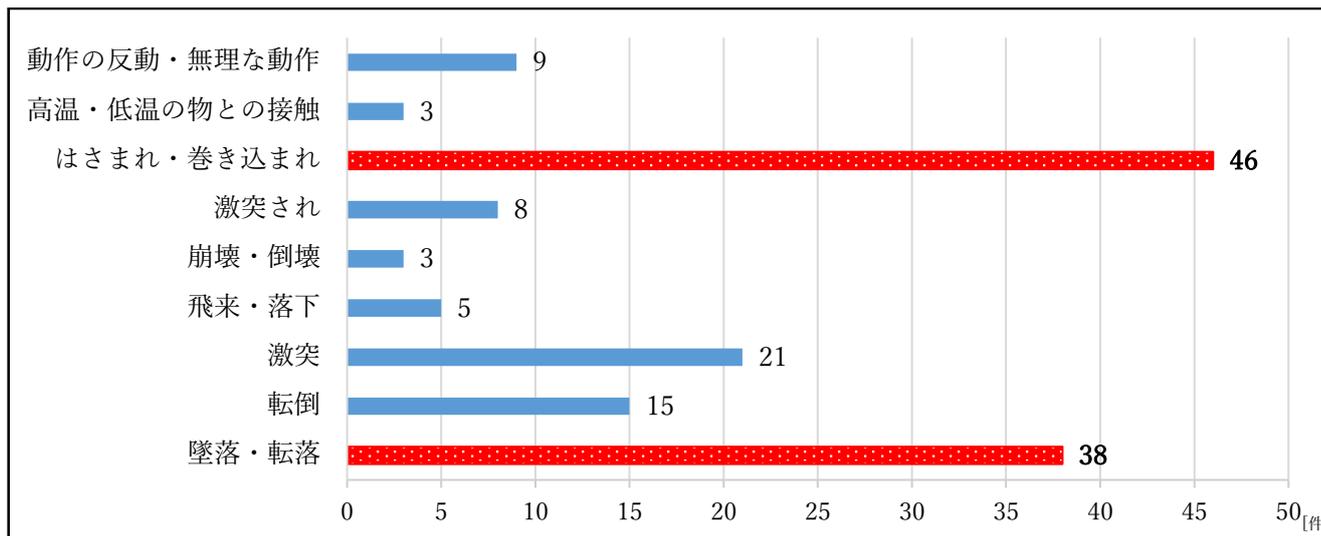
## ◆ 被災した際のフォークリフトの走行状態（H23年～R2年）



- 「フォークリフト運転者」は、フォークリフト運転中より、フォークリフトを停止させている際の方が多く被災（51%）しています。
- 「フォークリフト運転者」の停止時の災害としては、運転席から転落するケースや爪に躓いて転倒するケースが多い。
- 「フォークリフト運転者以外の者」は、フォークリフト後進時に被災する割合が高く（35%）、前進と旋回を含み、74%がフォークリフト運転中に発生しています。

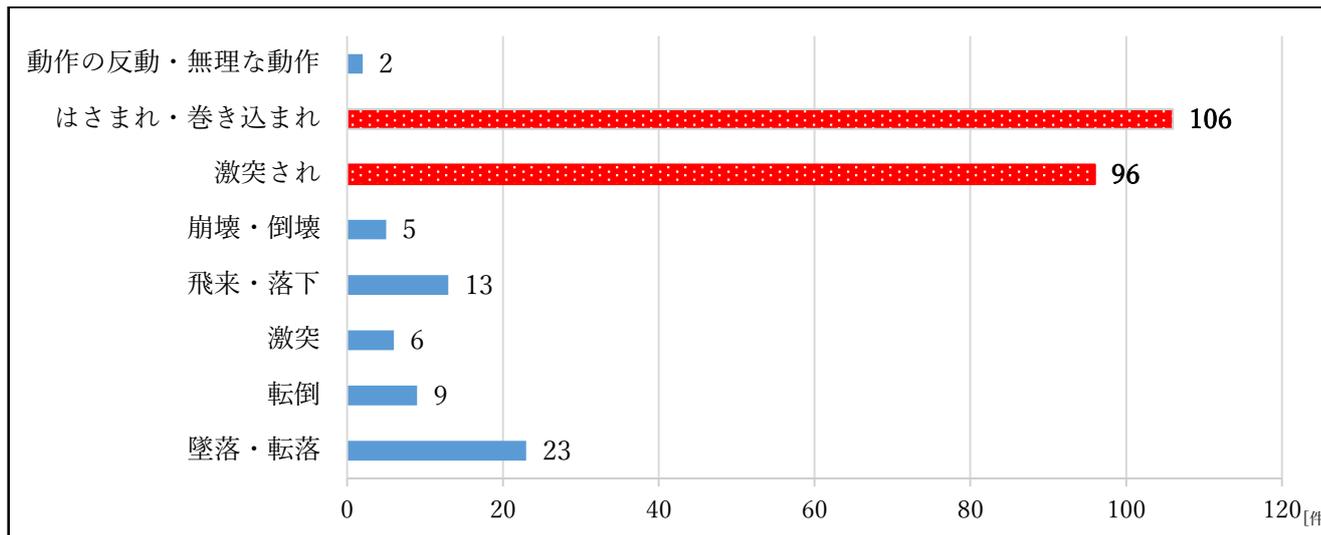
◆ 事故の型別労働災害発生状況（H23年～R2年）

【フォークリフト運転者】



- 「はさまれ・巻き込まれ」と「墜落・転落」で労働災害の57%となっており、次いで「激突」が多い状況となっています。
- 事故の内容では、走行中に身体の一部を車外に出してしまい、荷や建屋とフォークリフトのヘッドガードやリーチフォークリフトの立座などにはさまれるケース、停車後に運転席から転落するケースなどが多くみられます。

【フォークリフト運転者以外の者】



- 「はさまれ・巻き込まれ」と「激突され」の2つの事故の型で、労働災害の78%となっています。
- 荷の積載による前方の視界不良、後進時の後方確認不足、旋回時の内輪外輪差、作業範囲の確認不足などのフォークリフト運転者の確認不足のほか、被災者側の作業時の合図不足やフォークリフト通行帯への飛び出しなどが重なり、フォークリフトと接触してしまうケースが多くみられます。
- また、フォークリフトの爪に労働者を乗せて高所作業を行うといったフォークリフトの用途外使用による災害も見られます。

## ◆ フォークリフト使用時の労働災害を防ぐためのポイント

フォークリフト運転者やその周囲の作業者は、**各事業場で定められたルールを守り、適切な行動を徹底しましょう！**

### フォークリフト運転者の注意事項

- **周囲の安全を確かめながら、運転操作を行いましょ**う。特に、**荷の積載時は急な上昇・下降、旋回などは行わない**ようにしましょう。
- フォークリフトの**用途外使用をしない**ようにしましょう。

※フォークに人を乗せて作業したり、フォークで荷を吊るような行為等

- フォークリフトの操作に慣れていない場合は、一定期間は指導者の指導の下で作業を行うようにしましょう。

### フォークリフト運転者以外の者（周囲の作業者）の注意事項

- 自分の**周囲に注意を払いながら**作業を行うようにしましょう。
- 接触事故を防ぐために**歩行者立入禁止エリア（フォークリフト走行エリア）に立ち入らない**ようにしましょう。

### その他、事業者・作業者は次のような対策を講じましょ

- **作業手順書を作成**しましょう。
- 複数の作業者で荷役作業を行う場合は、**作業指揮者を配置**しましょう。
- フォークリフトに係る**安全研修を実施**しましょう。

## ◆ 死亡災害発生状況事例（H23年～R2年）

業種	事故の型	災害発生状況
その他の金属製品製造業	はさまれ・巻き込まれ	フォークリフトの性能を超えた荷を運搬中、フォークリフトの後輪が浮き上がり前方に傾いた。被災者が後方に飛び降りた後、フォークから荷が外れ、車体が元に戻った際に車体の下敷きとなったもの。 【被災者：フォークリフト運転者】
倉庫業	崩壊・倒壊	コンクリート製の衝立をフォークリフトで移動しようとしたところ、衝立が倒れ、傍で作業していた被災者が衝立の下敷きとなったもの。 【被災者：フォークリフト運転者以外の者】
造船業	崩壊・倒壊	フォークで運搬中の荷が崩れそうになったため、荷のズレを直すために、荷に近づいた際に、荷が崩れ下敷きとなったもの。 【被災者：フォークリフト運転者】
ゴム製品製造業	激突され	棚の上部に置いてある荷をフォークリフトに積載している荷で押しながら奥に移動させていたところ、棚が倒れ、傍で作業していた被災者に棚が激突したもの。 【被災者：フォークリフト運転者以外の者】
輸送用機械等製造業	激突され	被災者がハンドリフトを後方に引きながら運搬していたところに、別の労働者が運転するフォークリフトに激突されたもの。 【被災者：フォークリフト運転者以外の者】
自動車・同付属部品製造業	転倒	フォークリフト旋回中、右後輪が側溝に脱輪し、フォークリフトと共に転倒し、ヘッドガードのフレーム部分の下敷きとなったもの。 【被災者：フォークリフト運転者】